

第57回中国地区学校保健研究協議大会報告書

会長 西村 正広

日時：平成24年8月22日（木）9時30分から16時30分まで

場所：岡山市民会館・岡山県薬業会館

昨年までは、2日の日程だったが、今年は、1日の日程となりました。

来年は鳥根県で8月22日（木）に開催されます。

特別講演

「教育と医療の連携を進めるために」

松山赤十字病院 副院長 小谷信行先生

育成医療センターを設立し、赤ちゃんがお腹にいる時からカルテを作り、胎児期の情報は全て、小児科カルテに引き継がれ、成人になるまで継続性のある医療を実施してられます。また、ハローママカードを渡し、出産後3ヶ月間は24時間電話相談できるようにされています。

小児科カウンセリング受診者が、昨年度は651名だったそうで、発達障害新患者数が増加しているそうです。

成育コミュニティ・ボランティア養成講座を開設され、学校での教師の負担を減らすため、ボランティアチームを派遣している活動をおこなってられます。全国に広がれば、いいなと思いました。

職域部会 学校薬剤師部会

各県のおくすり教育の取組みについて協議されました。

コーディネーター 岡山県学校薬剤師会 副会長 堀部 徹先生

シンポジスト 広島県学校薬剤師会 副会長 加藤哲也先生

山口県学校薬剤師会 副会長 沖田敏宜先生

鳥取県学校薬剤師会 理事 都田修史先生

鳥根県学校薬剤師会 副会長 新宮行雄先生

岡山県学校薬剤師会 理事 清水圭子先生

班別研究協議会第5班「学校環境衛生活動と喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育」

薬物乱用防止教育 はじめの一步 ~ 誘惑に負けないスキルを育む取り組み ~

岡山県倉敷市立水島小学校 養護教諭 山磨利枝先生

実態を把握するため、児童、保護者、教師を対象にアンケートを実施されました。児童の家族の喫煙率が62%と高いなと思いました。養護教諭と担任のティーチングで授業を行い、学校薬剤師の協力で自作のプレゼンテーションを作成し、フィールドワークやケーススタディ、ロールプレイ、グループワーク、クイズやゲームなどの活動を取り入れられていました。

小中連携の中での薬物乱用防止教育 ~ 学校・家庭・地域と連携した取組 ~

広島県呉市立白岳中学校 養護教諭 荒井朋美先生

小・中学校合同学校保健委員会で協議をしたり、生徒が作成したポスターを校区内の公共施設や自治会館等に掲示してられます。

薬物乱用防止教育の取り組み ” 飲酒・喫煙防止教育を手がかりに “

鳥取県立米子高等学校 養護教諭 唐来喜久子先生

文部科学省から毎年配布される冊子「健康な生活を送るために」を年度始めのLHRで輪読したのは、効果があったと言われたので、調べてみました。次のホームページからダウンロード出来ます。http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/08111805.htm

また、文部科学省が作成した「暗雲を吹き払う風」は、薬物乱用防止教育の内容が、高校生でも楽しめるようなゲームの形となっており、生徒が楽しくプレイしながら、薬物に関する知識や考え方を身に付けることができるそうで、ぜひ、入手したいと思いました。

